

※9月22日の顧問会議で、AP部門の起動ソフトにつきましては、
Windows Picture and FAX Viewer に決まりました。
つきましては、補足プリントを改めましたのでご確認ください。

*注 AP部門＝オーディオピクチャー

*注 VM部門＝ビデオメッセージ

1. 台本・原稿について

芸文祭用の、原稿・台本用紙、テストパターン(VM部門用)を使用して下さい。

ただし番組については、台本中身（本編）はオリジナルでもかまいませんが、形式は同様にして必要事項は必ず記入してください。（映像・BGM・SE・時間・ナレーション・インタビュー等）

セリフやインタビュー、ナレーションすべて、活字にしてください。

使用著作物一覧についても、オリジナル様式でもかまいませんが2. 著作権処理①②③の項を確認のうえ、記入をお願いします。

表紙・制作意図、制作スタッフ・キャストの記入には、指定用紙を使用して下さい。

仕上がりは、袋とじ(A5版)で4部提出して下さい。

2. 著作権の処理について

全国総文祭に準じた形で行います。

①著作権が必要な映像、写真、資料、音楽等は必ず所定の処理を済ませてください。

②台本の最後に著作物の一覧表をつけてください。

使用した物は全て記載してください。（NHK杯、YBS杯を参考にしてください）

著作権の処理をとったものはその書類のコピーも添付してください。

記入例

- ・BGMについてはすべて著作権フリーCD使用
- ・効果音は自作または著作権フリーCD使用
- ・〇〇曲については著作権許諾済 資料添付
- ・資料 統計グラフ 山梨県庁から使用許可 など

③AP部門の写真については、生徒が撮ったもの、写真を借りたり資料を使ったものなども

②と同様に台本の最後に一覧表をつけてください。

許諾の資料がある場合、著作権の処理をしたものは書類のコピーもお願いします。

記入例

- ・写真はすべて生徒が撮影
- ・資料は山梨県庁より使用許諾済
- ・〇〇の写真については〇〇さんが撮影したもの。使用許可済 など

※記入例に関しては例ですので、各学校で分かるように記載してください。

3. 作品のバックアップについて

①提出作品は、VM 部門は miniDV 「標準(SP)モード」、AP 部門はMD 「標準(SP)モード」ですが、トラブル等の場合に備え、同じ内容のバックアップをそれぞれ VHS、カセットテープで持参してください。発表時、代表生徒が前にでるときに持って座るようにしてください。

なお、AP 部門のパソコン操作は、各学校の生徒が行ってください。

4. AP 部門の静止画像について

①画像は 50 枚、50MB 以内です（暗転の為の黒は枚数、容量には入りません）。

*静止画画質モードについては、1600×1200 ピクセル以下です。

デジタルカメラで撮影するとき、あるいはリサイズする際に画質確認をしてください。

画像が小さいものは、拡大などのサイズ調整はできませんので、そのままの投影になります。

提出する前にサイズの確認と指定の起動ソフトで再生をしてください。

*画像は使用するコンピュータにコピーして **Windows Picture and FAX Viewer**

(5. で起動、操作を紹介) で再生します。

そのため、暗転のための黒の画像も、一緒にファイル名を付けて保存してください。

CD-R とケースに作品名・学校名・静止画の枚数と暗転の枚数を一緒に書いてください。

(例：画像 33 枚のうち 3 枚暗転 画像 54 枚うち暗転 5 枚など)

②画像のファイル名の付け方はローマ字で学校名と番号を組み合わせたものをお願いします。

(例：yamanashi01.jpg や higashi02.jpg)再生順に 01 から番号を付けてください。

暗転も入れますので 050 以上になることもあります。

5. AP 部門・デジタル静止画起動ソフト・Windows Picture and FAX Viewer について

※AP で使うデジタル画像は、番号を付けて保存しておかなければなりません。

(あらかじめ画像のファイル名を表示順につけておきます。4. の②を参考)

例：yamanashi01.jpg yamanashi02.jpg yamanashi03.jpg yamanashi04.jpg

※タッチパッド(スライドパッド)を無効にして、マウス操作のみにしてください。

①画像の入っているフォルダを開きます。

②1 枚目に再生する画像を右クリックし、「プログラムから開く」→「Windows Picture and FAX Viewer」を選びます。

③1 枚目の画像が表示された後、「F 1 1」キーを押します。

④右上に出てくるボタンのうち、一時停止マークを押します。

⑤マウスカーソルを画面の右端に動かし、画面上に表示されないようにします。

⑥しばらく待つと、画面右上のボタンが消え、準備完了となります。

⑦カーソルキーの「→」を押すと次の画像へ、「←」を押すと前の画像に切り替わります。

⑧スライドショーを終了するときには、[ESC]キーを押してください。

6. アナウンス・朗読部門発表について

エントリー番号は、必ず読んでください。

学校名については読むのは自由ですが、読んだ場合は計時に入ります。

※現在までに顧問の先生よりいただいた質問です。生徒さんへの伝達をよろしく願いいたします。

Q. AP部門・VM部門の両方にかかわることですが、
「制作は〇〇高校（でした）」のクレジットコールは入れますか？
また、その場合は、5分以内に含まれるのでしょうか？

A. 制作〇〇高校の静止画とクレジットコールについては、自由ですが、入れた場合は、計時に入ります。
VM部門については、指定のテストパターン(高文連マーク)を、前後それぞれ20秒、入れることになっています。テストパターンは、計時には入りません。
計時については、はじめのテストパターンの終わった直後から、終わりのテストパターンの始まる直前になりますので、その範囲内で、制作の静止画やクレジットを入れるのであれば、と思います。5分以内です。

Q. アナウンス・朗読部門の、番号・学校名・氏名の読み上げは、今年度からの対応ですか？

A. 今年度は、学校名については、読むのは自由ですが、読んだ場合は計時に入ります。
エントリー番号・氏名(作者名・作品名)などは、必須です。

Q. メールでの参加申し込みを送りますか？

A. 芸文祭参加申し込みについては、すでに終了してエントリー順番も決まっていますので、あらためて送る必要はありません。ただ、都合で出場できなくなった場合は、すぐに、ご連絡をください。

※来年度、全国総文祭開催の三重県のテーマです。

今年度、県芸文祭のテーマとなりますので再度確認をお願いいたします。

アナウンス部門・オーディオピクチャー部門のテーマ：郷土の「道」について

道は、時代と共に日本全国に張り巡らされ、人と人を結んでいます。

三重県には世界遺産に登録された『熊野古道』や江戸時代にお蔭参りが盛んになった伊勢神宮と、全国各地を結ぶ『伊勢参宮街道』など歴史の道がたくさん残されています。

その為、アナウンス部門とAP部門のテーマに「道」を選びました。

1. 観光、産業、生活など様々な郷土の「道」に関する話題について取材してください。
2. 歴史的な古い道から新しくつくられた道や町並み。小道や散歩道の小さな道から大きな道まで郷土の「道」に関する話題について取材してください。
3. 実際に歩く道の他にも、郷土の街やそこに住む人の歩んできた道のり取材してもかまいません。